

奈良の丘だより



横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 4月号
笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

「笑顔」と「チャレンジ」があふれる学校を、共につくる

校長 浅川聡子

子どもたちが、瞳をきらきらと輝かせて登校してきました。その期待に満ちた表情を目の当たりにし、私たち教職員も身の引き締まる思いとともに、この期待に必ず応えようと決意を新たにいたしました。今年度も、本校は教育目標「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」の実現に向け、教職員一同心をひとつにして、子どもたちと共に豊かな学びを創り上げていく所存です。

1. 「ブロック副担任制」による多面的な見守り

子どもたちの安心・安全を守り、一人ひとりをも面的に見守るため、今年度より「ブロック副担任制」を導入いたします（横浜市第5期教育振興基本計画に基づく取り組み）。低・中・高の各ブロックに副担任を配置し、「学級数+1名」の教諭がチームとなって専科担当教科以外を分担します。担任だけでなく、多くの教職員の目で子どもたちを見守り、多様な視点からその成長を支えていく体制を整えてまいります。

2. 「誰に話してもいい」という安心感を

新しい環境に慣れるまでには、誰しも時間がかかるものです。「今の担任にはまだ緊張するけれど、前の担任になら話せる」……そんな気持ちになることもあるでしょう。不安な時、「誰になら話すことができるか」を私たちは大切にしたいと考えています。子どもたちには「誰に話してもいいんだよ」と伝えていきます。話を聞いた職員は、児童支援専任と連携し、本人の意思を尊重しながら新しい担任への橋渡しを丁寧に行います。これは保護者の皆様も同様です。お子様のことで気になることがあれば、どうぞご自身が「話しやすい」と感じる職員に、安心してお声がけください。

3. 「考えることが楽しい」「チャレンジしたい」を大切に授業へ

未来を生き抜く力を育むため、授業のあり方も進化させていきます。従来の教師主導の良さを大切にしつつ、今年度は「子どもの疑問から始まる授業」をさらに増やし、「考えることが楽しい」「チャレンジしたい」と思える授業を展開していきます。

- 自らの問いを解決するために、友達と考え、動く。
- 壁にぶつかり、真剣に悩む。

この「壁にぶつかった時」こそ、思考が最も活性化されるチャンスです。私たち教職員は、先回りして答えを与えず、子どもたちから「考える喜び」を奪わないよう、適切な支援・指導を行います。一人ひとりが主役となる授業を創り上げるために、子どもたちと共に悩み、研鑽を積み、努力してまいります。

本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をいただくと共に、保護者の皆様、地域の皆様のお力をいただきながら「笑顔」と「チャレンジ」があふれる学校づくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。